

平成 15 年度 第 5 回常任委員会 議事録

日時：平成 15 年 12 月 11 日（木） 14：00～17：00

場所：土木学会講堂

出席者：丸山委員長、前川幹事長、宇治、中村、三島、横田の各幹事、石橋、上田、魚本、梅原、大津、岡沢、金津、河野、坂井、堺、佐藤(勉)、佐藤(良)、島、角、十河、竹田、武若、堤、手塚、富田、二羽、福手、松岡（代理：新藤）、宮川（代理：岸）、睦好、の各委員
松沼事務局職員

配布資料：

- 5-0 平成 15 年度 コンクリート委員会 第 4 回常任委員会 議事次第
- 5-1 平成 15 年度 コンクリート委員会名簿
- 5-2 平成 15 年度 第 4 回常任委員会議事録（案）
- 5-3 全国大会第 部門キーワード
- 5-4 CLI の今後の方針および CLI 編集小委員会の見直しについて
- 5-5 コンクリート教育研究委員会活動概要
- 5-6 平成 15 年度コンクリート委員会一般会計会計状況(12 月 10 日現在)
- 5-7 第 3 種委員会提案書
- 5-8 出版企画書
- 5-9-1 示方書小委員会環境側面検討部会 委員名簿
- 5-9-2 コンクリート教育研究小委員会 委員名簿
- 5-9-3 三陸南地震被害分析研究小委員会 委員名簿
- 5-9-4 電力施設解体コンクリート利用検討小委員会 委員名簿
- 5-9-5 表面保護工法研究小委員会 委員名簿
- 5-9-6 コンクリートの環境負荷評価研究小委員会 委員名簿
- 5-9-7 コンクリート構造物の非線形解析技術研究小委員会 委員名簿
- 5-9-8 PC 構造物の現状の問題点とその対策に関する研究小委員会 委員名簿
- 5-9-9 コンクリート構造物の耐荷技術研究小委員会小委員会 委員名簿
- 5-9-10 耐震設計研究小委員会 委員名簿
- 5-10 コンクリート用語
- 5-11 SHMII-1 '2003 国際会議報告
- 5-12 「コンクリートの表面被覆および表面改質」に関するシンポジウム
- 5-13 第 5 回複合構造の活用に関するシンポジウム講演論文集
- 5-14 **Microstructure and Durability to Predict Service Life of Concrete Structures**
- 5-15 平成 16 年度事業計画および予算要求調書、平成 14 年度実績の委員会活動度調査書
- 5-16 規準関連委員会、コンクリート委員会 HP

議事：

1. 委員長挨拶および常任委員交代

丸山委員長から開会の挨拶があった。また、日本道路公団の角委員から猪熊氏への委員交代が認め

られた(資料 5-1)。

2. 前回議事録(案)の確認

前回議事録(案)(資料 5-2)が承認された。

3. 審議事項

(1) 平成 16 年度全国大会セッション名の変更・追加および共通セッション

前川幹事長から、メールで意見紹介を行った全国大会申し込み時のキーワードを資料 5-3 のように提出したことが報告された。キーワードとして、維持管理の次に「劣化予測」を加え、最終版として提出することが了承された。

(2) 英文ライブラリー編集小委員会の見直し

宇治幹事から、資料 5-4 に基づき CLI 編集小委員会からの今後の方針ならびに CLI 編集小委員会の見直しに関する提案が説明された。提案に基づき、CLI を 43 号(2004 年 6 月号)で廃刊とし、CLI 小委員会は解散することが了承された。それに伴い、今後の指針類等の海外への情報発信については、国際関連小委員会で検討することとした。また現在英訳作業中である、塩化物イオンの指針、示方書については CLI43 号に間に合わない場合は、配布方法を検討することとした。配布方法については、CD で出すような仕組み作りを検討してはどうかとの意見が出された。

(3) 国際関連小委員会の活動計画

堺標記小委員会委員長から、国際関連小委員会の活動の柱として、コンクリート委員会の成果物・活動状況発信のインフラ整備の検討、海外の学協会との連携のための仕組みづくり、ISO 対応、等が考えられることが報告され、次回委員会で活動計画を提案してもらうこととした。

(4) コンクリート教育研究小委員会の今後の活動

福手標記小委員会委員長から、資料 5-5 に基づき現在までの各 WG(生涯教育 WG、情報発信 WG、シンポジウム WG)の活動状況、シンポジウムの予定(平成 16 年 7 月 29 日)について説明が行われた。委員会としての何らかの提言や、個人的に作られている教材についての調査を行うことの要望が出され、検討してもらうこととした。また、現在までの委員会支出が当初予算をオーバーしているため、追加予算の依頼が行われた。

(5) 予算執行中間報告等

前川幹事長から、資料 5-6 に基づき 12 月 10 日現在の会計状況が説明され、以下のことが了承された。また、前川幹事長から学会全体の予算が厳しくなっているため、各研究委員会とも赤字を出すことは認められないことが紹介された。

- ・コンクリート教育研究小委員会への追加予算については、現在の会計状況と活動状況を考慮し、40 万円を認めることとした。

- ・三陸南地震被害分析研究小委員会の梅原委員長から十勝沖の地震被害分析も検討することになり、北海道の委員を追加したため当初予算を超過してしまうことが報告され、40 万円の追加予算を認め

ることとした。

・アル骨反応対策小委員会の岸幹事長から、今年度の支出として350万円程度(予算200万円)が見込まれることが報告された。来年度予算も合わせて活動予算を考えてもらうこととし、次回委員会に今年度の成果と来年度の活動予定を報告してもらうこととした。

・梅原規準関連小委員会委員長から、小委員会のHPを作成した結果、6万円程度の赤字が見込まれることが報告された。エポキシ鉄筋小委員会で予算が余ったため、その分を流用することとした。

・小委員会の幹事または幹事長は、予算の執行状況を随時確認することを確認した。

・各委員会で、万一予算をオーバーすることが予想される場合は、事前に幹事団に連絡することとした。

(6) 3種委員会の設置

丸山委員長から、資料5-7に基づき第3種委員会(委員会名:材料劣化が生じたコンクリート構造物の構造的な性能研究小委員会、委員長:下村先生(長岡技術科学大学))設置の提案が行われ、承認された。なお、委員公募の文面については、幹事団で事前に確認することとした。

(7) メンテナンス工学連合小委員会の出版企画

前川幹事長から、資料5-8に基づきメンテナンス工学連合小委員会の活動成果の出版企画説明が行われ、土木学会メンテナンス工学連合小委員会編として出版する事が了承された。

(8) 委員構成および交替

丸山委員長から、資料5-9-1から資料5-9-10の委員構成および交代が説明され、了承された。

(9) その他

(1) コンクリート用語のJIS見直しについて

宇治幹事から、資料5-10に基づきJISのコンクリート用語の新規・改正・削除の原案が紹介された。意見がある場合は、1月10日までに宇治幹事に連絡することとした。

(2) コンクリート委員会のHPのトップページについて

梅原規準関連小委員会委員長から、資料5-16に基づき規準関連小委員会のHP(外注で作成)のトップページが紹介され、コンクリート委員会のトップページ変更の提案が行われた。幹事会でトップページの変更を検討することとなった。

(3) 阪神大震災10周年行事について

前川幹事長から、阪神大震災後10年にあたって関連行事を開催することの提案が地震工学委員会より土木学会になされる予定であることが報告され、コンクリート委員会も提案に賛同することとした。

(4) 日本学術会議材料研究連合講演会について

前川幹事長から、材料研究連合講演会の実行委員会に2名の幹事を出す必要があることが説明された。人選については、幹事団で検討することとなった。

(5) 国交省の単位水量に関する通達への対応について

十河委員から、国交省のレディミクストコンクリート品質確保に関する通達について、荷卸し時の

単位水量を計測することになったが、示方書に単位水量の規定や不合格だった場合の対応方法の記述がなく、確立された試験方法もないなどの現状が説明され、コンクリート委員会としての対応策を検討するための委員会組織が必要であるとの意見が出された。これに対し、試験方法を限定するのは不可能である、生コン JIS の記述内容を検討することも考えてみる必要がある、などの意見があった。協議の結果、示方書小委員会で提案の内容を検討してもらうこととした。

4．報告事項

(1) 平成 16 年度事業計画及び予算要求調書提出報告

前川幹事長から、例年通り標記調書（資料 5-15）を提出したことが報告された。

(2) ISO-TC71 SC5 DIS15673（簡易低層建築設計）審議依頼への対応報告

三島幹事から、標記 DIS の審議依頼について、幹事団で対応したことが報告された。今回は、既に数度委員会に Draft の報告がされていることおよび時間的にも余裕がなかったため幹事団で対応したが、基本は国際小委員会が窓口となって対応することが確認された。

(3) 土木学会規準（塩化物付関連 3 件 + 断面修復材）英訳の ISO 委員会助成決定報告

宇治幹事から、標記 4 件の英訳で 50 万円の助成金が付いたことが報告された。

(4) 平成 16 年度出版企画書ヒアリング報告等

宇治幹事から、5 件（電力解体、表面保護工、超高強度、三陸南、示方書仕掛かり）の出版企画書のヒアリングがあり、出版委員会で企画書が認められたことが報告された。また数年間の示方書の売り上げが紹介された。

(5) 第 1 回構造ヘルシネス及び知的社会基盤に関する国際会議報告

丸山委員長から、資料 5-11 に基づき標記国際会議が成功裏に終了したこと、会計報告は現在とりまとめ中であることが報告された。

(6) その他

(1) 資料 5-12 に基づき「コンクリートの表面被覆および表面改質」のシンポジウムが 2 月 12 日に行われることが報告された。

(2) 資料 5-13 に基づき、佐藤（勉）委員から、複合構造の活用に関するシンポジウムが開催されたことが報告された。

(3) 資料 5-14 に基づき、上田委員から「Microstructure and Durability to Predict Service Life of Concrete Structures」（Workshop は 2004 年 2 月 10 日）の案内が行われた。

(4) 武若委員から「コンクリート標準示方書 [維持管理編] に準拠した維持管理マニュアル（その 1）および関連資料の発刊」ならびに「エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いる鉄筋コンクリートの設計施工指針の改訂」に関する講習会が終了したことの報告が行われた。

5．その他

次回の第 6 回常任委員会は、3 月 9 日（火）14:00～17:00 とする。

以上